

2014年6月1日

## 東芝メディカル、医療システム開発子会社を吸収合併

東芝メディカルシステムズは、100%子会社の東芝医用システムエンジニアリングを吸収合併する。役割分担の明確化と開発体制の再構築が狙い。

東芝メディカルシステムズは、100%子会社の東芝医用システムエンジニアリングの吸収合併を発表した。東芝メディカルを存続会社として、同年10月1日付で実質的な事業統合を行い、2015年4月1日付で合併を完了する見通し。

東芝メディカルは日本・米国・欧州・中国の4拠点で、医療施設と共同しての研究開発を進めている。今回の体制変更で、先行技術開発、要素技術開発、商品開発などの役割分担の明確化と開発体制の再構築を行い、グローバルな競争力を持つ製品の開発を加速させていくという。

東芝は、グループ全体の事業戦略として、エネルギー、ストレージに加えヘルスケア事業の強化を推進しており、今回の統合もその一環となる。

以上